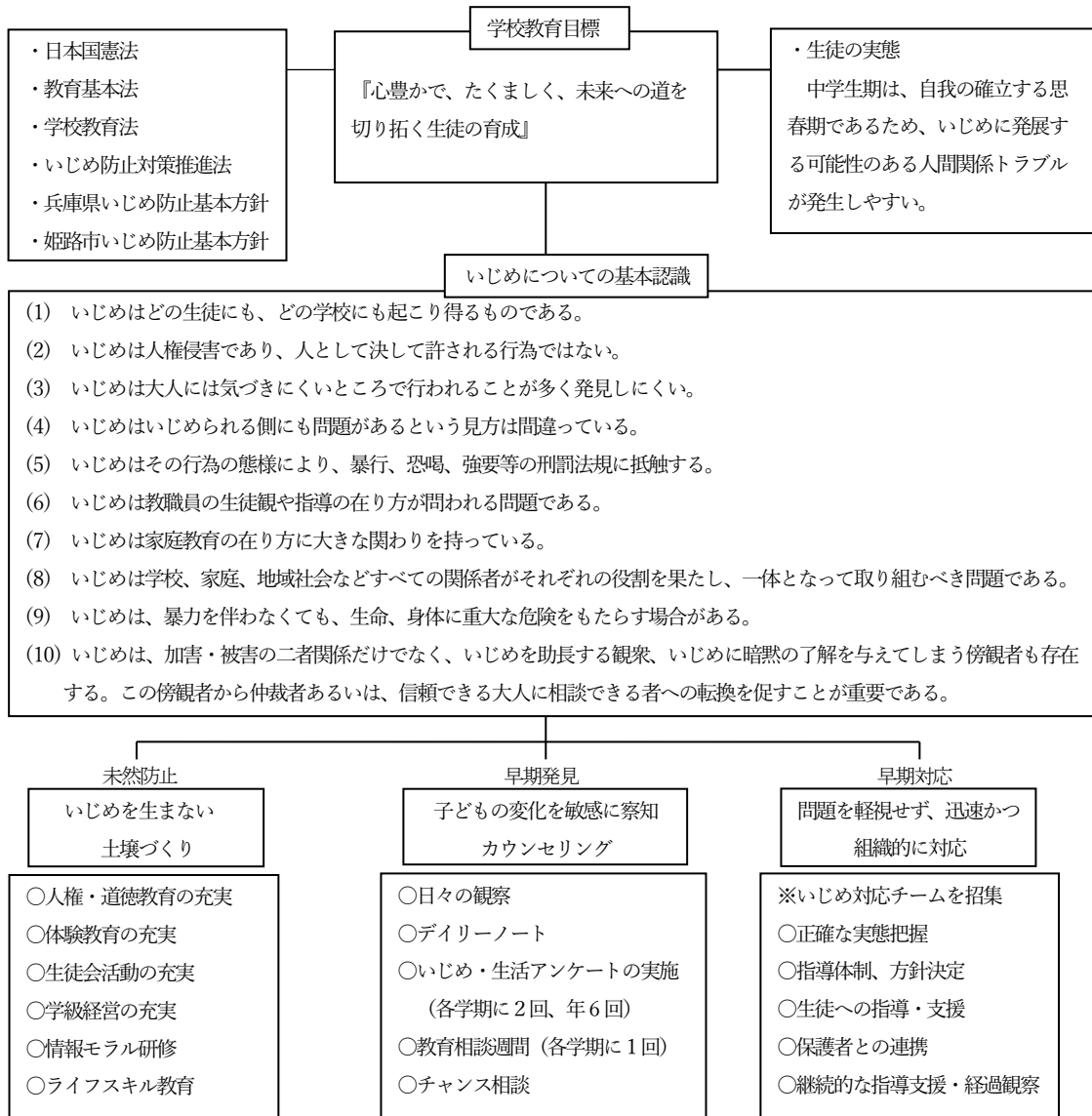
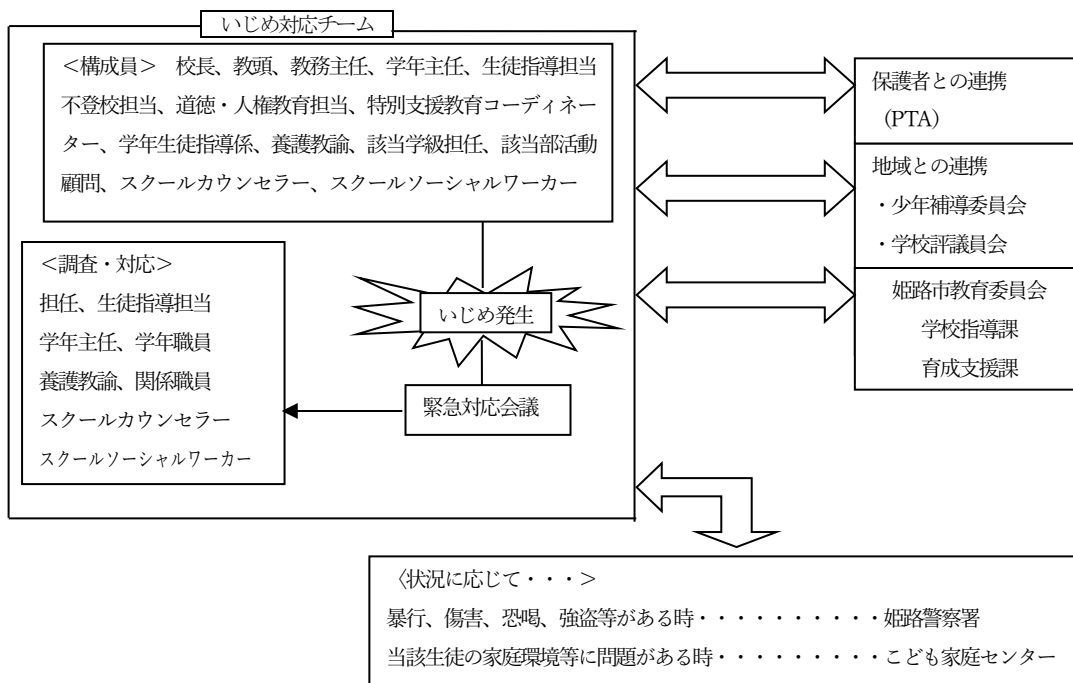


姫路市立東光中学校いじめ防止全体計画

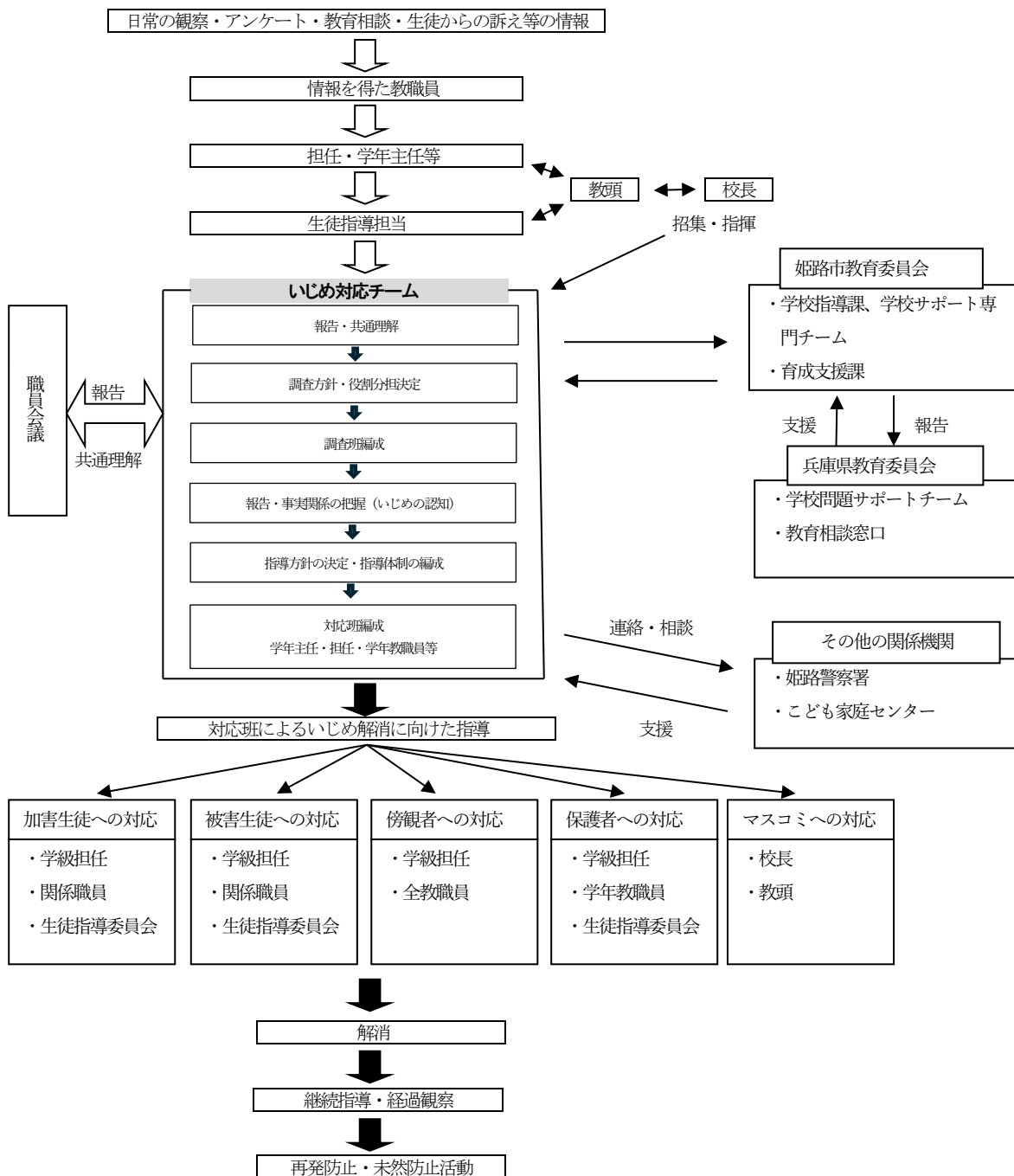


※ いじめ対応チーム関係図



いじめ発生時対応要領

いじめは未然防止することが最良であるが、いじめを認知した場合には、特定の教職員が一人で抱え込んだり、隠したりすることなく、校長のリーダーシップのもと「いじめ対応チーム」を中心にして学校全体で情報を共有し、組織的に対応する。いじめの解消に向けては、迅速な対応が大切であることから、情報を得てから学校の対応方針決定までを速やかに行う。ただし、重篤な場合やいじめられた側といじめた側の見解に大きな差がある場合、把握した状況をもとに十分に検討協議し、慎重に対応する。



早期発見のためのチェックリスト

いじめが起こりやすい・起こっている集団

- ☐朝いつも誰かの机が曲がっている
- ☐教職員がいないと掃除がきちんとできない
- ☐掲示物が破れていたり落書きがあつたりする
- ☐グループ分けをすると特定の子どもが残る
- ☐特定の子どもに気を遣っている雰囲気がある
- ☐些細なことで冷やかしたりするグループがある
- ☐学級やグループの中で絶えず周りの顔色をうかがう子どもがいる
- ☐自分たちのグループだけでまとまり、他を寄せ付けない雰囲気がある
- ☐授業中、教職員に見えないようにいたづらをする

いじめられている生徒

◎日常行動・表情の様子

- ☐わざとらしくはしゃいでいる
- ☐おどおど、にやにや、にたにたしている
- ☐下を向いて視線を合わせようとしない
- ☐顔色が悪く、元気がない
- ☐早退や一人で下校することが増える
- ☐遅刻・欠席が多くなる
- ☐腹痛など体調不良を訴えて保健室へ行きたがる
- ☐ときどき涙ぐんでいる
- ☐いつもみんなの行動を気にし、目立たないようにしている
- ☐友だちに悪口を言われても言い返さなかったり、愛想笑いをしたりする

◎授業中・休み時間

- ☐発言すると友だちから冷やかされる
- ☐一人でいることが多い
- ☐班編成の時に孤立しがちである
- ☐教室へいつも遅れて入ってくる
- ☐学習意欲が減退し、忘れ物が増える
- ☐教職員の近くにいたがる
- ☐決められた座席と違う席にすわっている

◎昼食時

- ☐好きな物を他の生徒にあげる
- ☐他の生徒の机から机を少し離している
- ☐食事の量が減ったり、食べなかったりする
- ☐食べ物にいたづらされる
- ☐教室で一人離れて食べている
- ☐昼食時になると教室から出て行く

◎清掃時

- ☐いつも雑巾がけやごみ捨ての当番になっている
- ☐一人で離れて掃除をしている

◎その他

- ☐トイレなどに個人を中傷する落書きが書かれる
- ☐持ち物や机、ロッカーに落書きをされる
- ☐持ち物が壊されたり、隠されたりする
- ☐理由もなく成績が突然下がる
- ☐部活動を休むことが多くなり、やめると言い出す
- ☐服に靴の跡がついている
- ☐ボタンがとれたり、ポケットが破れたりしている
- ☐手や足にすり傷やあざがある
- ☐けがの状況と本人が言う理由が一致しない
- ☐必要以上のお金を持ち、友だちにおごるなどする

いじめている生徒

- ☐多くのストレスを抱えている
- ☐家や学校で悪者扱いされていると思っている
- ☐あからさまに、教職員の機嫌をとる
- ☐特定の子どもに強い仲間意識をもつ
- ☐教職員によって態度を変える
- ☐教職員の指導を素直に受け取れない
- ☐グループで行動し、他の生徒に指示を出す
- ☐他の子どもに対して威嚇する表情をする
- ☐発言の中に差別意識が見られる
- ☐教師が近づくと、集団が分散する
- ☐教師が近づくと、集団が黙り込む
- ☐活発に活動するが他の生徒にきつい言葉をつかう